

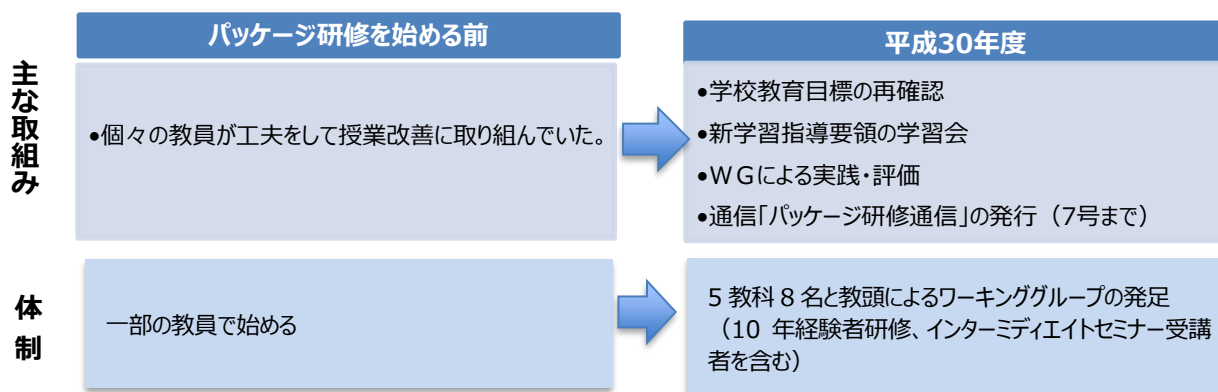
府立阿倍野高等学校の取組み

(1) 学校教育目標（めざす生徒像）

- 確かな学力とキャリア形成
- 「自律・敬愛・共創」
 - － 自ら規律を重んじ他者を敬愛しながら、共働して価値あるものを創り出す力
- 知徳体に備わった豊かな人間性

(2) 主な取組みと組織体制の整備

- テーマ…「生徒の発言を引き出し、表現力を高める授業づくり」



平成30年度からパッケージ研修支援Ⅰを実施するにあたり、校内研修主担者を中心としたワーキンググループ（以下、WG）を組織し、5教科を中心とする教員8名（10年経験者研修、インターミディエイトセミナー受講者を含む）で構成しました。WG会議において、学習面における生徒の長所（知識習得が得意、指示に答える）を生かし、短所（間違いを恐れる、受け身、表現力が乏しい）を改善するために「生徒の発言を引き出し、表現力を高める授業づくり」を今年度のテーマに設定しました。

最初から全体で一斉に取り組むのではなくWGから始めて、それを全体に広げるようにすることで、先生方が負担感を感じないような工夫をしています。

(3) 主な実践とその工夫

① 学校教育目標と研究テーマを全教職員で再確認

全体研修会に多くの教員が参加することにより、学校教育目標を意識してもらおうきっかけになり、さらに研究テーマについても広めることができました。第1回研修会で新学習指導要領を研修内容に取り上げたことで、パッケージ研修の取組みが新学習指導要領と関連があることを認識でき、先生方の興味を引くことができました。また、新学習指導要領では「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」になることを全体研修会で周知し、阿倍野高校としてどのような内容にしていけるか、全教員で考える機会となりました。

② 授業改善により、高まる教員の意識

WGが率先して授業改善に取り組むことで、他の教員の意識が高まり、研究授業に参加する教員が増えていきました。平成30年度は取組みを紹介する「パッケージ通信」を7号まで発刊し全職員に配付して



います。通信の中でWGの授業の紹介や外部研修の紹介を行うと、通信を読んだWG以外の教員から応援の声があがるなど、授業改善に向けた教員の意識が高まっています。さらに、WGの教員も、自分の取組みにより生徒が良い方に変容していくことを経験することで、授業改善の継続にさらに意欲的になり、新たな実践を次々と始めています。それを見て、周りの多くの教員が授業に工夫を始めるなど、好循環が生まれています。

③ エビデンスに基づいた検証

授業改善の取組みの検証となるよう、授業アンケートに新たな質問項目「先生は生徒の意見を引き出せるよう、授業を工夫している」という項目を増やして実施しました。研究テーマに沿って、授業改善をした結果、WGの平均は、7月、2月の実施とも学校平均を大きく上回る高評価を得ており、授業改善の方向性は間違っていないことがわかります。

| 実施月 | WG平均 | 学校平均 |
|-----|------|------|
| 7月 | 3.39 | 3.08 |
| 12月 | 3.38 | 3.09 |

アンケート項目「先生は生徒の意見を引き出せるよう、授業を工夫している」の結果（4件法）

また、WGを対象に、研究テーマに即した授業アンケートを新たに作成し、3科目（9クラス、360人）で実施しました。この授業アンケートでは、「表現する機会がある」「表現できるようになった」については高評価でしたが、「文章で書けるようになった」「意見が発言できるようになった」については低い状況です。このことにより、生徒は表現する機会はあるが、その力がついたという実感は乏しいと感じていることがわかります。しかし「他者と話し合いができるようになった」については、94%と高評価であることから、ペア学習やグループ学習の効果があったことが推測できます。

自由記載欄には、「班員と話し合っ、自分の意見がより良いものになった」と書かれていることから、対話的な活動を通して、他者の意見と比較したり、参考になる考えを取り入れたりして、生徒は自分の意見をより広げ深めていることがわかります。

【研究テーマに沿って新たに取り入れたWGアンケート】

| アンケート項目 | 肯定率 |
|----------------------------------|-----|
| 1. 授業では自分の考えをじっくり考える機会がある。 | 97% |
| 2. 授業では自分の意見を文章で表現する機会がある。 | 87% |
| 3. 授業では自分の意見を発言する機会がある。 | 93% |
| 4. 授業では他者と話し合う機会がある。 | 98% |
| 5. 授業で自分の考えをじっくり考えることができるようになった。 | 91% |
| 6. 授業で自分の意見が文章で書けるようになった。 | 74% |
| 7. 授業で自分の意見が発言できるようになった。 | 75% |
| 8. 授業では他者と話し合いができるようになった。 | 94% |

【生徒自由記述欄から一部抜粋】

- ・友達と考える時間が増えた
- ・授業の雰囲気が発言しやすい
- ・他の人と意見の交流ができるのが良い
- ・班活動は眠たくなならないし、素直に発言できる
- ・班員と話し合っ、自分の意見がより良いものになった
- ・わからないことをすぐペアに聞けるのがよい

阿倍野高校の研修主导者は、パッケージ研修を始める前は、とても不安を感じていました。しかし、WGの中で話し合いを重ね、計画を立て、それを実行するにつれ、生徒の変容、教員の変容が実感でき、授業改善が加速度的に学校全体に広まっていくのを感じることができました。これは、いきなり全体でスタートするのではなく、少人数から始めたことに起因します。次年度は、研修主导者を交代し、取組みの継続を図っていきます。